

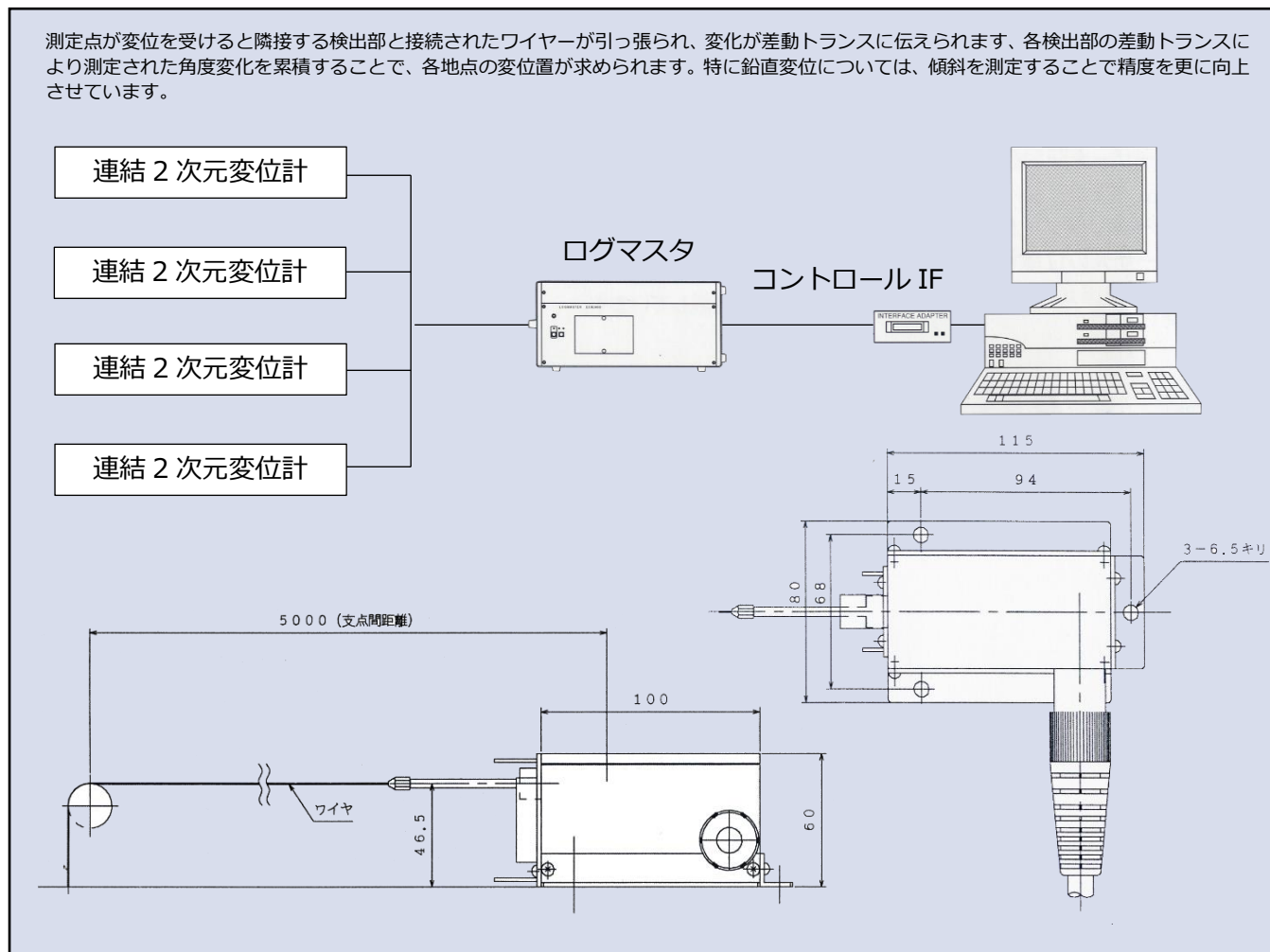
構造物変状計測

2次元変位計 EDL-5100R

連結2次元変位計は、近接工事やシールドトンネル掘削時において近接する既設構造物(共同溝、トンネル、建物、地盤など)や軌道の沈下・隆起と水平方向の移動を同時に測定する計測器です。

- センサー間はワイヤーで接続されるため、長スパンにわたる計測が可能で、設置も簡単です。
- 検出部に差動トランスを使用しており、高精度と長期安定性を実現しています。
- 耐久性に優れ、長期計測に適しています。
- 他の計測機器と併用して使用可能です。

測定点に変位を受けると隣接する検出部と接続されたワイヤーが引っ張られ、変化が差動トランスに伝えられます。各検出部の差動トランスにより測定された角度変化を累積することで、各地点の変位位置が求められます。特に鉛直変位については、傾斜を測定することで精度を更に向上させています。



名称	2次元変位計
測定点間(支点間)距離	5m以上
測定範囲	±50mm
測定精度(1測点あたり)	0.5mm(5m時)
分解能(1測点あたり)	0.1mm(5m時)
測定器	EMシリーズ、ECシリーズ、CDシリーズ